



写真提供：十日町市教育委員会

平成30年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【申し込み不要・無料】

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第1回

4/22(日)

「土偶と火焰型土器」

講師：石川智紀（県埋蔵文化財センター）

【内容】土偶は火焰型土器が製作された中期のものが最も多く見つかっています。県内各地域から出土した土偶を通じて、その特徴や地域性について考えます。

第2回

5/20(日)

「縄文時代中期の大集落 野首遺跡 —火焰型土器を作った縄文人のくらし—」

講師：菅沼 亘氏（十日町市博物館）

【内容】火焰型土器が大量に出土している十日町市野首遺跡の発掘調査から分かった、縄文人のくらしについて紹介します。

第3回

6/17(日)

「火焰型土器の造形」

講師：宮尾 亨氏（新潟県立歴史博物館）

【内容】火焰型土器は口縁の突起と器面全体を覆う立体的な渦巻文様を特徴とします。この造形について作り方を中心に解説します。

第4回

7/22(日)

「佐渡金銀山遺跡と県内鉱山遺跡の価値と魅力 —国内外の鉱山遺跡との比較調査の視点から—」

講師：尾崎高宏（新潟県教育庁文化行政課）

【内容】佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて進めてきた国内外の鉱山との比較調査から見えてきた、佐渡金銀山及び県内の鉱山遺跡の価値や魅力について解説します。

第5回

8/26(日)

「丸木舟を作り、漕ぐ」

講師：山田昌久氏（首都大学東京大学院人文科学研究科）

【内容】旧石器時代に人類は海を越えて日本列島に入ってきました。丸木舟の推進力や、人類はどのような技術で海を越えたかについて解説します

第6回

9/9(日)

「蔵ノ坪遺跡 —物資輸送の中継地、川の津を探る—」

講師：飯坂盛泰（県埋蔵文化財センター）

【内容】平安時代初めの胎内市蔵ノ坪遺跡は「津」墨書や、国司館に納める荷に付いていた木簡の出土から港と考えられます。古代の津について考察します。

第7回～12回は裏面をご覧ください。

◇講演時間 13:30～15:30(受付 13時から)

◇定員 80人(定員になり次第締め切り。定員に達した場合お断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。)

◇会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1

TEL: 0250-25-3981 FAX: 0250-25-3986 MAIL: niigata@maibun.net

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日2週間前までに御連絡ください。



佐渡を世界遺産に



いきいき
県民カレッジ



平成30年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【申し込み不要・無料】

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

<p>第7回 10/21(日)</p>	<p>「石船戸東遺跡の丸木舟を観察する」 講師：小野本 敦（県埋蔵文化財センター）</p>	<p>【内容】石船戸東遺跡から出土した丸木舟には、製作にかかわる様々な痕跡が刻まれています。これらを丁寧に読み解き、丸木舟の見どころを詳しく解説します。</p>
<p>第8回 11/11(日)</p>	<p>「佐渡小泊窯跡須恵器の生産と流通」 講師：春日真実（県埋蔵文化財センター）</p>	<p>【内容】佐渡南部に位置する小泊窯の製品は、佐渡島内だけでなく越後や隣県にも流通しました。小泊窯の焼き物作りや製品の流通について解説します。</p>
<p>第9回 12/9(日)</p>	<p>「日本列島の縄文丸木舟」 講師：荒川隆史（県埋蔵文化財センター）</p>	<p>【内容】日本列島で見つかった縄文時代の丸木舟は、170艘以上あります。このうち65艘を観察し、丸木舟の変遷と地域性について解説します。</p>
<p>第10回 1/27(日)</p>	<p>「石器製作から見た縄文時代の「伝統」」 講師：沢田 敦（県埋蔵文化財センター）</p>	<p>【内容】石器の作り方は親から子に伝承されたと考えられ、当時の伝統としての性格を持っています。県内の縄文石器の製作技術から当時の伝統を探ります。</p>
<p>第11回 2/17(日)</p>	<p>「翡翠文化を探る」 講師：木島 勉氏（糸魚川市教育委員会文化振興課）</p>	<p>【内容】翡翠原産地の発見から80年が過ぎ遺跡発掘調査によって縄文時代まで遡る翡翠の加工とその流通が明らかになりました。その発見と調査成果から翡翠と人との関わりを探ります。</p>
<p>第12回 3/17(日)</p>	<p>「石斧作りの縄文村 一六反田南と長者ヶ原」 講師：岡村道雄氏（元文化庁主任文化財調査官）</p>	<p>【内容】糸魚川の海岸で採れるブランド石材・流紋岩を使って、多量に磨製石斧を生産していた六反田と長者ヶ原村での、石斧の作り方、生産量や搬出などをわかりやすく説明します。</p>

第7回～12回は裏面をご覧ください。

◇講演時間 13:30～15:30(受付13時から)

◇定員 80人(定員になり次第締め切り。定員に達した場合お断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。)

◇会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1

TEL: 0250-25-3981 FAX: 0250-25-3986 MAIL: niigata@maibun.net

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日2週間前までに御連絡ください。



いきいき
県民カレッジ

佐渡を世界遺産に